

The Horse Racing School
Japan Racing Association



日本中央競馬会
競馬学校

雄大 挑戦

ここがドラマの第一歩

競馬の大衆化、国際化が進むにつれて、中央競馬における厩舎関係者の人材養成にも、統一かつ充実した指導の必要性が強く求められています。

ここ千葉・白井の地に昭和57（1982）年、JRA競馬学校は「世界に通用する強い馬づくり、そのために必要な人づくり」をスローガンに、より優れた技術と知識をもった騎手と厩舎従業員（厩務員）にふさわしい人材を育成するために、騎手課程と厩務員課程の2コースにより発足しました。技術面のトレーニングもさることながら、社会人としての一般教養も修得できるようにサポートし、また、馬と心の語りあいができる厩舎人の養成・訓練を目的としています。

沿革

- | | |
|---------------------|--|
| 大正12(1923)年 | 騎手の騎乗技術の研鑽を目的として、東京競馬倶楽部が習志野の陸軍騎兵学校に委嘱して障害飛越の騎乗講習会を実施 |
| 昭和15(1940)年 | 日本競馬会の主催で中山競馬場にて第1回騎手講習会を実施（第2回以降は、東京世田谷の馬事公苑にて実施） |
| 昭和18(1943)年 | 第二次世界大戦の影響により騎手講習会を一時中止 |
| 昭和22(1947)年 | 3週間程度の「短期騎手講習会」と1年間の「長期騎手講習会」の2本立てとして、馬事公苑にて騎手講習会を再開 |
| 昭和54(1979)年 | 美浦トレーニング・センターの開設に伴いすべての厩舎が移転したため、中山競馬場の分場として使用していた白井厩舎の跡地を利用して、「短期騎手講習会」を中心とした騎手候補者の教育を行う白井分苑（馬事公苑の分苑）が発足 |
| 昭和57(1982)年
3月1日 | 新規に就労する騎手及び厩舎従業員（厩務員）に対する教育を強化、充実させようとする気運が競馬サークル内外から高まり、白井分苑が学校設置に要する面積を充足するとともに、教育環境としても最適であることから、日本中央競馬会本部の附属機関として競馬学校を設立 |

三、
鹿島の砂に育てられ
蹄の音にふるいたち
出でたたん日を夢に見て
愛馬と共に励みつつ
はるかに望む暁の星
ああ清新のわが母校



日本中央競馬会

競馬学校校歌

作詞 志摩直人
作曲 渡辺岳夫

一、下総しもうさの野に光あり

木下街道きのしたかいどうのほとりなる

白井の春の梨の花

愛馬と共に住む里は

むかしも牧まきと呼ばれしと

ああ清新のわが母校

二、印旛の沼や手賀沼に

鳥渡りくる秋の日は

網に血潮の通いきて

愛馬と共に語らえば

たてがみ光れ白き風



ゆったりと広い構内に 充実した施設

緑豊かな白井の地に立つ競馬学校は、総敷地約25万㎡を有する
広大な規模と良好な自然環境、充実した施設を誇ります。

校内には、生徒の騎乗訓練を行う1周1,400mの走路を中心に、
約160頭の教育用馬が繋養可能である厩舎、屋内馬場をはじめとして、
トレーニングルームを併設した体育館、視聴覚室のある本館など、
中央競馬の構成員として“即戦力”となるべく緻密に構築された
カリキュラムを機能的に実施できる施設が完備されています。

また、地域との融和のためイベントにおいて校内を広く提供するなど、
人と馬とのよりよいコミュニケーションを育みながら、

開かれた教育環境づくりをすすめています。

なお、国際招待競走として昭和56(1981)年ジャパンカップ競走を
創設して以来、農林水産省の特別検疫指定機関として本校の国際厩舎が、
外国馬や海外遠征から帰国した日本馬の輸入検疫に使用されています。



② 公正寮(騎)

配置図番号説明

- ① 競馬学校本館
- ② 公正寮
(騎手課程生徒寄宿舍)
- ③ 清新寮
- ④ あかつき寮
(厩務員課程生徒寄宿舍)
- ⑤ 厩舎
- ⑥ 馬診療所・装蹄所
- ⑦ 保守管理棟
- ⑧ 警備哨舎
- ⑨ 調教スタンド
- ⑩ 外走路
- ⑪ 内走路
- ⑫ 障害馬場
- ⑬ 第1角馬場
- ⑭ 第2馬場
- ⑮ 250m追馬場
- ⑯ 400m追馬場
- ⑰ 放牧場
- ⑱ 国際厩舎
- ⑲ 污水处理施設
- ⑳ 馬魂碑・馬頭観世音
- ㉑ 体育館
- ㉒ 覆馬場(インドア)
- ㉓ 砂浴場

施設概要

- 敷地総面積…251,271㎡
- 外走路
 - 延長…1,400m ●幅員…17m
- 内走路
 - 延長…1,200m ●幅員…10m
- 障害馬場
 - 延長…1,200m ●幅員…10m
 - 障害の程度…生垣障害(1基)、グリーンウォール(2基)
 - 高さ=1.1~1.2m
 - 幅=2.2~2.3m
- 400m追馬場
 - 幅員…6m
- 250m追馬場
 - 幅員…6m
- 第1角馬場
 - 面積…12,180㎡
- 第2馬場
 - 面積…楕円形馬場3,376㎡
- 競馬学校本館
 - 教室(1室)・視聴覚室・講堂など
- 厩舎
 - 棟数…26棟 教育用厩舎5棟・検疫厩舎2棟(うち隔離厩舎1棟)
 - 国際厩舎19棟(うち隔離厩舎1棟)
- 馬診療所
 - 教室(1室)・診療室・装蹄室など
- 公正寮(騎手課程生徒寄宿舍)
 - トレーニングルーム・居室44室・茶室1室・和室1室・娛樂室3室
- あかつき寮(厩務員課程生徒寄宿舍)
 - 教室(1室)・居室25室・娛樂室1室





① 競馬学校本館



⑫ 体育館



⑫ 覆馬場(インドア)



⑭ 厩手課程生徒寄宿舎



⑬ 食堂(公正寮)



⑬ 生徒の居室(公正寮)



⑬ 談話室(公正寮)



⑭ あかつき寮(厩務員課程生徒寄宿舎)



“未来”へ向かって日々鍛練 “仲間”とともに切磋琢磨

騎手課程

騎手課程はトレーニング・センターでの厩舎実習を含め3年間となり、馬術の基礎訓練からレース騎乗へ向けた実践的訓練まで段階的に学んでいきます。

教育期間中は全寮制となっており、生徒が教育カリキュラムに“万全”の状態に取り組むことができるよう、教育スタッフによる指導はもとより寮監や管理栄養士を常勤させるなど心身の健康管理について細心の注意を払っています。

設立後四半世紀を経た平成20（2008）年には、昨今の騎手を巡る環境の変化（騎手同士の競争は一層激しく、厳しいものになっているなど）にも十分適応できるようにするため、大幅な教育カリキュラムの見直し、つまり、実技訓練のみならず、“アスリート”として心身を鍛えるための科目（フィジカルトレーニングやメンタルケアなど）や、世間一般の実務的な素養や知識を修得させるカリキュラム（世の中のしくみやコミュニケーション論など）を学科に取り入れました。

これにより、騎手に必要な「心・技・体」の一層のレベルアップ、社会人となるための社会適合力養成をサポートする教育カリキュラムとなっています。

厳しい騎乗訓練や体重を規定内に保つための自律的な体重管理など、十代半ばの生徒にとっては非常に辛いこととあり、残念ながら志半ばで本校を去ることとなる生徒がいることも現実です。しかし、これらの困難を乗り越え、その先にある輝かしい“未来”へ向かって生徒たちは日夜訓練に励んでいます。

厩務員課程

厩務員課程は、“強い馬”づくりに必要な知識・技能・騎乗技術を伴った厩舎従業員（厩務員）の訓練を目的とし、6ヵ月間の“短期集中型”の教育カリキュラムを編成しています。

実技訓練においては、前期では基本馬術、後期では走路騎乗を行い、今後、競走馬の調教を行っていくうえで必要な騎乗技術の基礎を修得していきます。

学科においては、馬の飼養管理や疾病などの基礎知識、中央競馬の大前提といえる「公正競馬」の円滑かつ安定的施行にかかる競馬法規などに取り組みます。



競馬学校騎手課程生徒の一日を紹介する動画をJRA公式YouTubeにアップしています。ぜひご覧ください。

騎手課程生徒の1日

通常時間時限表		夏季時間時限表(7月)	
5:00	起床・点呼・検量・清掃 5:00~5:30	4:00	起床・点呼・検量・早朝食
	入厩・厩舎作業 5:30~6:45		入厩・実技・厩舎作業 4:30
	朝食・休憩 6:45~7:30		朝食・休憩 8:00~8:50
	実技・厩舎作業・点呼 7:30~12:00		実技・厩舎作業・点呼 8:50~12:00
12:00	昼食・休憩 12:00~13:15	12:00	昼食・休憩 11:45~13:30
	学 科 13:15~15:15		学 科 13:30~15:30
	厩舎作業・夕飼付・点呼 15:15~17:00		厩舎作業・夕飼付・点呼 15:30~17:00
17:00	補習・自習・見回り 17:00~22:00	17:00	補習・自習・見回り 17:00~21:00
	夕食・自由時間		夕食・自由時間
22:00	消 灯 22:00	21:00	消 灯 21:00



入学式

厩務員課程生徒の1日

通常時間時限表		夏季時間時限表(7月)	
5:00	起床・点呼・検量・清掃 5:00~5:30	4:00	起床・点呼・検量・早朝食
	入厩・厩舎作業 5:30~7:00		入厩・実技・厩舎作業 4:30
	朝食・休憩 7:00~7:30		朝食・休憩 8:00~8:45
	実技・厩舎作業・点呼 7:30~12:00		厩舎作業・点呼 8:45~11:45
12:00	昼食・休憩 12:00~13:15	12:00	昼食・休憩 11:45~13:30
	学 科 13:15~14:15		学 科 13:30~15:30
	休 憩 14:15~14:30		厩舎作業・夕飼付・点呼 15:30~17:00
	厩舎作業・夕飼付・点呼 14:30~17:00	17:00	補習・自習・見回り 17:00~21:00
17:00	補習・自習・見回り 17:00~22:00		夕食・自由時間
	夕食・自由時間		消 灯 21:00
22:00	消 灯 22:00	21:00	消 灯 21:00

中旬~8月下旬)

4:00~4:30

~8:00

1:45

0



5:00 検量



5:30 厩舎作業



6:45 朝食・休憩



騎手課程
(基本馬術)

騎乗訓練



7:30



騎手課程
(障害馬術)

中旬~8月下旬)

4:00~4:30

~8:00



厩務員課程(基本馬術)



厩務員課程(走路騎乗)



騎手課程(走路騎乗)



騎手課程(模擬レース)

PM



学科授業(騎手課程)

13:15



美術(騎手課程)



フィジカルトレーニング(騎手課程)



15:15 馬の手入れ



17:00

自由時間 (自主トレーニング)



18:00

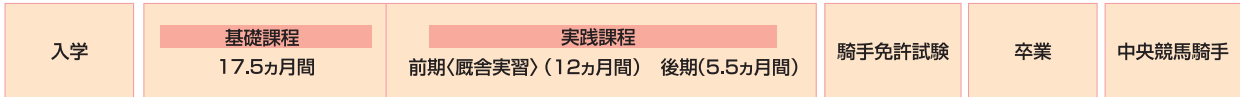
夕食

2024年
騎手課程第40期生卒業式

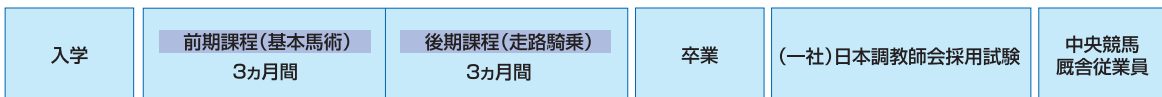


卒業式

騎手課程(3年間)



厩務員課程(6ヵ月間)



Q&A 競馬学校と競馬の仕事

Q1 競馬学校は、どのような場所ですか？

A

競馬学校は、JRAが騎手の養成を行うとともに、将来、中央競馬の厩舎従業員になろうとする者の訓練を行うところです。「職能訓練センター」のような組織であり、「学校教育法」などに規定されている「高等学校」や「専修学校」ではありません。

Q2 競馬学校での教育内容は、どのようなものですか？

A

騎手課程では、実技(騎乗訓練)はもちろんのこと、「アスリート」としての心身を鍛えるための科目(フィジカルトレーニングやメンタルトレーニングなど)や実務的な素養・知識を修得させる科目を学科に取り入れることにより、騎手に必要な「心・技・体」のレベルアップ、社会人としての社会適合力の向上をサポートする教育カリキュラムを編成しております。厩務員課程では、実技(騎乗訓練)に加え、馬の飼養管理や疾病などの基礎知識、中央競馬の円滑かつ安定的施行のもととなる競馬法規などに取り組んでおり、「強い馬」づくりに必要な知識・技能を中心とした教育カリキュラムを編成しております。

Q3 競馬学校を卒業さえすれば、“騎手”や“厩舎従業員”となることはできるのですか？

A

中央競馬の騎手となるためには、JRAが実施する「騎手免許試験」に合格し、「騎手免許」を取得しなければなりません。競馬学校を卒業しても、「騎手免許試験」に合格しない限り、中央競馬の騎手となることはできません。中央競馬の厩舎従業員となるためには、中央競馬に所属する調教師に採用されなければなりません。競馬学校卒業後、厩舎従業員の求人がない場合は、求人があるまで“待機”となることもあります。

Q4 騎手や厩舎従業員の給与形態は、どのようになっているのですか？

A

騎手は基本的に個人事業主であり、“給与”というものは存在しません。レースに騎乗した際の「騎乗手当」及びその騎乗馬が入賞した際の「賞金」の一部が主な収入となります。そのほかの収入としては、調教師と騎乗契約を結んでいる(厩舎に所属している)場合、「騎乗契約料」があることもあります。厩舎従業員は、雇用者である調教師から給与が支給されます。そのほか騎手と同様、担当馬が入賞した際の「賞金」の一部も収入となります。

Q5 入学するためには、“乗馬経験”が必要ですか？

A

騎手課程では、“乗馬経験”が必ずしも必要ではありません。第2次試験での試験項目に「騎乗適性検査」があり、乗馬未経験者であっても、実際に騎乗し審査を行います。(乗馬未経験者は、乗馬経験者とは異なる方法で、騎乗適性を見極めます。)厩務員課程では、競走馬・育成馬・乗馬の騎乗経験が1年以上なければ、受験することはできません。騎手課程・厩務員課程の受験について、ご不明な点がございましたら競馬学校教育課までお問い合わせください。

Q6 競馬学校での修学費用は、どれくらいかかりますか？

A

厩務員課程の修学費用(所定の期間で卒業した場合)は、概ね下表のとおりとなります。

	入学金	訓練馬維持負担金(授業料)※	騎乗装具等	食事代	合計
厩務員課程(6ヵ月間)	39,000円	120,000円	約10万円	約23万円	約49万円

※ 厩務員課程には訓練馬維持負担金を、競馬学校卒業後に後払いすることができる「徴収猶予制度」があります。

※ 騎手課程は食事代(約120万円)のみとなります。

Q7 競馬学校では、在学中も体重制限があるのですか？

A

騎手課程生徒は、毎朝寄宿舎(公正寮)で寮監など立会いのもと体重を計測しており、それぞれの生年月日により定められた指定体重を超過しないよう生徒自らが体重管理をしなければなりません。

Q8 生徒は外泊、外出することが可能ですか？

A

騎手課程生徒は、全寮制のため原則として外泊はできません。ただし、外出については、日曜日などの休校日において定められている時間内に限り可能です。厩務員課程生徒は、指定された日に限り外泊することができます。また、外出については、休校日のほか、平日についても指定された時間内に限り外出することができます。このほか、厩務員課程生徒については、校外に居住することも可能です。しかし、その場合でも早朝の実技(騎乗訓練)や夜の厩舎作業など、寮に居住している生徒と同様に行動しなければなりません。

Q9 競馬学校を見学することは可能ですか？

A

年に数回「施設見学会」を実施しており、実技(騎乗訓練)や施設の見学を中心に、騎手課程や厩務員課程に関する説明などを行っております。「施設見学会」の実施スケジュールにつきましては、「競馬学校ホームページ」をご参照ください。このほかにも、「騎手課程生徒公開模擬レース(例年10月頃予定)」などの学校紹介イベントも実施しております。詳細につきましては、決まり次第「競馬学校ホームページ」にて発表いたします。

Q10 育成牧場で働きたいのですが、競馬学校からの紹介などはあるのでしょうか？

A

競馬学校では育成牧場などへの紹介・あっ旋は行っていません。競馬雑誌の求人情報、広告などを活用してください。

Q11 入学試験の筆記試験では、どのような問題が出題されるのですか？

A

騎手課程、厩務員課程それぞれの第1次試験における筆記試験は、騎手課程では中学校レベルの国語、社会の2科目、厩務員課程では一般教養(漢字読み書き・社会)などを出題いたします。過去5年間の試験問題は、競馬学校にて頒布しております。詳細につきましては、競馬学校総務課までお問い合わせください。

上記のほか、ご不明な点などがございましたら、競馬学校(TEL:047-491-0333(水曜日～金曜日9:00～17:00)、mail:gakkou_keiba@jra.go.jp)までお問い合わせください。



競馬学校ホームページ
<https://jra.jp/school/>

卒業後の仕事場 栗東、美浦トレーニング・センター

中央競馬の騎手および厩舎従業員となった生徒は滋賀県にある栗東トレーニング・センター、もしくは茨城県にある美浦トレーニング・センターが勤務地となります。

これらのトレーニング・センターは、「公正競馬」の円滑かつ安定的施行、充実したレースの提供などを目的として、昭和44（1969）年には滋賀県の栗東町（現在の栗東市）に、そして昭和53（1978）年には茨城県的美浦村にそれぞれ開設しました。ここには、調教師、騎手、厩務員、調教助手など多くの人々が居住し、競走馬にとって好ましい環境と充実した施設のもと、より“強い馬”をつくりあげるために日々努力しています。



栗東トレーニング・センター



美浦トレーニング・センター

調教の担い手



調教師

馬主から馬を預かり、競走馬を調教管理して、最良のコンディションでレースに出走させる高度な専門的技術者です。また、雇用している厩舎従業員などの労務管理も重要な業務となります。



調教助手

競走馬の調教騎乗を専門とする職種ですが、調教師の補佐役として、競馬場での臨場代行業務など調教師の業務を代行して行うことができます。



騎手

主な業務は、レースでの騎乗ですが、競馬開催日以外の調教騎乗もまた重要な業務となります。立場としては、調教師と騎乗契約を結び厩舎に所属する騎手、独立してフリーとなる騎手の2通りがあります。



厩務員・調教厩務員

厩務員は、競走馬の飼養管理、運動、手入れ及び馬房清掃などの厩舎作業を行います。また、調教厩務員は、調教助手と同様に競走馬の調教騎乗も行います。

競走馬の輸入検疫施設としての競馬学校

中央競馬の国際交流競走に出走する外国馬や海外遠征後に帰国した日本馬は必ず「輸入検疫」を受ける必要があります。一般的に動物検疫は空港や港にある国の係留施設で行われますが、国の係留施設では調教を実施できません。レースを控えた競走馬は検疫期間中であってもコンディション維持に配慮する必要があるため、検疫馬を隔離することが可能で、競走馬の調教が可能な走路を備えた競馬学校が輸入検疫施設として指定を受け、「輸入検疫」に関する業務を行っています。

海外で行われる国際交流競走に出走する日本馬の輸出入検疫



国内で行われる国際交流競走に出走する外国馬の輸出入検疫



競走馬の輸入検疫

輸入検疫は、家畜伝染病予防法第40条第3項ただし書きの規定に基づき、農林水産大臣より指定された検査場所で行わなければならない。「国際交流競走出走馬の輸入検疫要領」に基づいた厳しい規定に則って実施しています。

なお、通常、一般馬の輸入検疫期間は10日間ですが、国際競走出走予定の競走馬のうち、一定の条件を満たした馬は特例措置として5日間まで短縮できることとなっています。

競馬学校へのアクセス



交通機関のご案内

- ①北総鉄道(都営浅草線直通)「白井駅」下車
ちばレインボーバス「西船橋駅」行→「富笠道・競馬学校」バス停下車(約7分)
- ②北総鉄道・新京成電鉄・東武野田線「新鎌ヶ谷駅」下車 タクシー(約15分)
- ③新京成電鉄「鎌ヶ谷大仏駅」下車
ちばレインボーバス「白井駅」行「白井車庫」行→「富笠道・競馬学校」バス停下車(約15分)

日本中央競馬会 競馬学校

〒270-1431 千葉県白井市根 835-1
TEL 047-491-0333



<https://jra.jp/school/>

日本中央競馬会

- 所在地
東京都港区西新橋1丁目1番1号
- 設立年月日
昭和29年9月16日
- 資本金
49億2,412万9千円 政府全額出資
- 設立の目的
日本中央競馬会法第1条には設立の趣旨として「競馬の健全な発展を図って馬の改良増殖その他畜産の振興に寄与するため」とあります。
- 法人格
日本中央競馬会法(昭和29年7月1日法律第205号)に基づく特殊法人。公共性の強い法人で農林水産大臣の監督下に置かれています。